

平成27年度 寄付金会計並びに機構事業のご報告①

事業名：防災シンポジウム

共 催：松山市・松山市地域防災協議会・松山市消防団・松山市自主防災組織ネットワーク会議・松山市女性防火クラブ連合会・松山防火連絡協議会・特定非営利活動法人日本防災士機構・愛媛大学防災情報研究センター

開 催：平成28年1月17日（日曜）9時～12時

参加者：約1200名（防災士、市民）

会 場：松山市民会館
（松山市堀之内）

事業内容：松山市は、自主防災組織の「防災リーダー」として活躍している防災士数が2,837名（平成27年11月末）と全国一であることから、「防災シンポジウム」を開催し、自主防災組織や防災士の活動事例の発表や、パネルディスカッションを通じて、地域防災力の充実強化の必要性を広く市民に啓発することを目的とする。
詳細は次頁以降参照（日本防災士機構ホームページより）。

事業費：当事業費用総額 280,000円

〔 寄 付 金 〕	平成26年度寄付金繰越額	2,131,232円
	平成27年度寄付金総額	2,375,800円

松山市と機構の共催。約 1200 名参加

防災シンポジウム(平成 28 年 1 月 17 日開催)

日本防災士機構は、防災士養成数が自治体において最大である愛媛県松山市と共催にて、平成 27 年 1 月 17 日(日)、松山市民会館において「防災シンポジウム」を開催しました。

シンポジウムには、自主防災組織関係者や防災士ら約 1,200 人が参加して開催されました。平成 26 年夏に豪雨災害により被害を受けた広島市安佐南区の山根健治氏・梅林学区自主防災会連合会副会長が「広島市 8.20 豪雨災害での経験をふまえて」と題して講演されました。

次いで、総務省消防庁の木村宗敬・地域防災室長が「地域防災力の充実強化」と題して講演されました。

また、松山市の五明地区と高浜地区の代表が、自主防災組織の活動事例を報告されました。

パネルディスカッション「わたしたちがつくる！～未来のまつやま～」では、中・高生や大学生が社会人の防災活動家と共に出演し、防災活動について活発な意見交換をしていただきました。

当日は、有意義なシンポジウムとなり、盛会のうちに終わることが出来ました。

わたしたちがつくる!
～未来のまつやま～

防災シンポジウム

平成28年 1月17日(日) 9時から12時
会場 松山市民会館 大ホール

“一人でも多くの人を笑顔に 幸せ実感都市 松山”

松山市では、「健康・安全安心で幸せ実感」を基本政策の一つに据え、「災害に強いまちづくり」に積極的に取り組んでいます。地域防災力の充実のため、自主防災組織にリーダーとなる防災士の養成を促るとともに、災害時に児童・生徒の安全を守るため、市内の小中学校、幼稚園、保育園、児童センターの施設管理者にも防災士を養成しています。私自身も、防災の知識や情報、意識を高め、本格的防災士にいかんなく貢献して防災士の資格を取得しました。平成27年11月実施した、本学全体の防災士数は237名で自治体では日本一を誇っています。これからも、防災と学習がそれぞれの役割を担い、各地域の防災活動を積極的に推進することで市民の防災意識を高め、健全な地域防災力の向上に取り組んでまいりますので御協力をお願いします。

松山市長 野志 克仁

■共催：松山市・松山市地域防災協議会・松山市消防部・松山市自主防災ネットワーク協議会・松山市女性防火クラブ連合会・松山市防災連絡協議会・NPO法人 日本防災士機構・愛媛大学防災情報研究センター

防災シンポジウム

平成28年 1月17日(日) 9時から12時
松山市民会館 大ホール

■プログラム

第1部	9:00	開会式・表彰式
第2部	9:20	広島市8.20豪雨災害での経験をふまえて～我々の命は、我々で守る～ 山根 健治 (広島市安佐南区梅村学区自主防災会連合会 副会長)
		地域防災力の充実強化 木村 宗敬 (総務省消防庁防災課長・防災部地域防災室長) 松山市自主防災組織の活動事例～地区別防災計画作成の取組～ 吉金 茂 (五明地区自主防災組織連合会) 藤原 政徳 (高浜地区自主防災連合会)
第3部	11:15	パネルディスカッション 「わたしたちがつくる!～未来のまつやま～」 コーディネーター 矢田部 龍一 (愛媛大学防災情報研究センター長)
		パネリスト 今西 純子 (愛媛大学防災リーダークラブ 愛媛大学大学院 1年生) 村上 正尚 (松山市消防団大学生防災サークル 松山大学 4年生) 原 貴大 (愛媛県立松山工業高等学校 2年生) 須矢 結衣 (松山立高浜中学校 2年生) 山崎 祐司 (松山立高浜中学校校長)
	12:00	閉会

■出演者紹介

広島市8.20豪雨災害での経験をふまえて～我々の命は、我々で守る～

山根 健治 (広島市安佐南区梅村学区自主防災会連合会 副会長)
山根氏は、平成26年8月20日豪雨災害で、安佐南区梅村学区の被災者として、被災者支援活動に尽力されました。被災者支援活動を通じて、被災者の命を守るためには、自治体の防災士を養成し、防災士が地域防災力の充実強化に貢献することを強く感じました。この経験をもとに、広島市では、防災士を養成し、防災士が地域防災力の充実強化に貢献することを強く感じました。この経験をもとに、広島市では、防災士を養成し、防災士が地域防災力の充実強化に貢献することを強く感じました。

地域防災力の充実強化

木村 宗敬 (総務省消防庁防災課長・防災部地域防災室長)
木村氏は、総務省消防庁防災課長・防災部地域防災室長として、防災士の養成や地域防災力の充実強化に取り組んでいます。防災士の養成や地域防災力の充実強化に取り組んでいます。防災士の養成や地域防災力の充実強化に取り組んでいます。

松山市自主防災組織の活動事例～地区別防災計画作成の取組～

吉金 茂 (五明地区自主防災組織連合会)
藤原 政徳 (高浜地区自主防災連合会)

パネルディスカッション

コーディネーター 矢田部 龍一 (愛媛大学防災情報研究センター長)

パネリスト

今西 純子 (愛媛大学防災リーダークラブ 愛媛大学大学院 1年生)
村上 正尚 (松山市消防団大学生防災サークル 松山大学 4年生)
原 貴大 (愛媛県立松山工業高等学校 2年生)
須矢 結衣 (松山立高浜中学校 2年生)
山崎 祐司 (松山立高浜中学校校長)

このパンフレットは、愛媛大学の協力により作成しています。

■開催状況

第1部



開会あいさつ 松山市長 野志克仁氏



日本防災士機構理事長 鈴木正明の共催あいさつ



自主防災組織関係者や防災士 約1,200名が参加

第2部



防災士表彰式の様子



体験発表

広島市8.20豪雨災害での経験をふまえて
～我々の命は、我々で守る～

広島市安佐南区梅林学区自主防災連合会
副会長 山根健治氏



講演・地域防災力の充実強化

総務省消防庁国民保護・防災部地域防災室長
木村宗敬氏



松山市自主防災組織の活動事例発表 ～地域防災計画作成の取組～

吉金 茂(五明地区自主防災組織連合会)
陰原 政徳(高浜地区自主防災連合会)

第3部

パネルディスカッション わたしたちがつくる！～未来のまつやま～

コーディネーター

矢田部 龍一(愛媛大学防災情報研究センター長)

パネリスト

今西 桃子(愛媛大学防災リーダークラブ)

村上 正尚(松山市消防団大学生防災リーダー)

原 貫太(愛媛県立松山工業高等学校生徒)

浜矢 結衣(松山市立高浜中学校生徒)

山地 裕司(松山市立高浜中学校校長)



展示ブース コミュニティプラザ

